

# お〜ぶん

社会福祉法人さざんか会法人広報誌「お〜ぶん第98号 2024秋」

発行:さざんか会法人本部/船橋市行田2-8-1/☎047-404-1135

編集:お〜ぶん編集委員会/けいよう/船橋市二和西5-10-1/☎047-411-8177

先日あるセミナーで、大勢の皆様を前にお話しさせていただきました機会がありました。長く障害福祉に携わって来た者として、障害のある人をめぐる環境なり施策なりがどのように変遷して来たのか。改めて今ある姿を確認、検証する機会としたい、と決めました。

先日あるセミナーで、大勢の皆様を前にお話しさせていただきました機会がありました。長く障害福祉に携わって来た者として、障害のある人をめぐる環境なり施策なりがどのように変遷して来たのか。改めて今ある姿を確認、検証する機会としたい、と決めました。

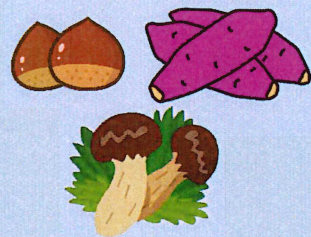
先日あるセミナーで、大勢の皆様を前にお話しさせていただきました機会がありました。長く障害福祉に携わって来た者として、障害のある人をめぐる環境なり施策なりがどのように変遷して来たのか。改めて今ある姿を確認、検証する機会としたい、と決めました。

## 「越し方を振り返る」

社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

### お〜ぶん98号目次

- P1 「越し方を考える」  
理事長 宮代隆治
- P3 令和5年度  
法人決算書公開
- P4 北総だより  
・北総育成園  
・笹川なすな工房
- P7 各事業所  
夏&秋だより  
・とらのこキッズ  
・さざんかキッズ  
・のまる  
・カメラアハウス  
・けいよう  
・ゆたか福祉苑  
・グループホーム
- P11 後援会だより



でした。社会から疎外、隔離されたり偏見や差別に曝されたり、そんな状況下の世界中の障害者を解放、人権を取り戻す取り組みの促進でもありました。

並行して「ノーマライゼーション」の思想と運動がこの国にも到来、徐々に浸透して行きました。「障害のある人も、その地域の同年代にある人と、同様同等の暮らしを享受すること、つまりは普通の暮らしを営むことが当然である」ことが謳われました。そして、その実現は障害当事者の責任や努力ではなく、その環境を整えるのは社会の責務である、と。

「障害」や「障害者観」の見直しが迫られました。この後、国による施策の中にも「ノーマライゼーション」という言葉は用いられました。

2000年は「社会福祉基礎構造改革」の始まった年でした。それは、戦後形づくられた社会福祉の仕組みを根本から変革するものでした。介護保険制度が始まった年でもあり、高齢者福祉では「措置制度」がいち早く廃止されました。自由度が顧みられぬ問題のある「措置制度」ではありましたが、行政が責任をもって障害

のある人を施策の利用に結び付ける義務もあるのであり、戦後の社会福祉に一定の効果をもたらしたことは事実だと思えます。功罪相半ば、と評するのが正解かと思えます。

障害福祉の世界はこの後「支援費制度」を迎えます。ここで、「措置から契約」へと福祉の施策利用の仕組みが変わりました。障害者と事業者は対等な関係を前提に、福祉サービス（「サービ

ス」という言葉も、耳慣れぬものでしたの利用は契約によることとなりました。また、高齢や障害を問わずこの業界に営利企業の参入を認めたのもこの頃です。「これからは、サービスは買うものとなります。良質なサービスが選ばれ、劣悪な事業所は潰れます」とも。このことは、選択の主体である障害当事者の権利を尊重することでもあるようでした。対等な関係で契約を結ぶ、その事を担保するために事業所の情報公開や苦情を受け付け、解決に向かう仕組みも作られました。判断能力に難があり、自身が契約を結ぶことができない障害のある人は、より使い易い成年後見制度を、と改正が同時に図られました。こうして、

障害のある人の権利を擁護して、より主体的に自身の意向が尊重される障害福祉の仕組みの作られることが期待されました。

2006年、「障害者自立支援法」が施行されました。このとき、制度を支える財源として利用したサービスの一部を負担すること、応益負担が原則とされ、これには全国で当事者団体はじめ、様々な関係団体から「反対」の大合唱が起きました。そして、集団訴訟が起きました。反対運動は盛り上がり、負担を要する人の条件が緩和され、ごく一部の人のみが負担することとなりました。税金で賄う障害福祉、関係予算が自立支援法施行時に比べ3倍増ともいわれ、先行きの懸念は続きます。

2006年はまた、国連による「障害者権利条約」成立の年でもありました。この条約批准を睨み、この国に「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」が整備されました。この条約の成立は世界各地から参加した障害当事者の力が結集した結果でもありました。曰く、「私たちのことを決めるとき、私たち抜きでは決めないで」です。

一昨年9月、日本政府は初めて国連の「障害者権利委員会」からこの条約批准の状況を審査され、多くの厳しい勧告を受けました。批准したのであり、条約の精神をいかに実現するか、問われるのですが…。他の分野でもそうですが、この国は国連の勧告を無視する傾向があり、世界各国から響き（ひびく）をかうことが心配されます。

さて、記述のように障害及び障害者を否定的に捉え、ともすれば社会から隔離したり、本人の望まぬ異質な生活を強いたり、世界から、障害があっても不変平等な人権を有する市民であり、何ら変わらぬ普通の生活を送る人であることの実現のために、環境や施策を整備して来たことが窺えるようです。それが、あまねく障害のある人に届いているのか、同時に注視しなければなりません。



社会福祉法人さざんか会 令和5年度資金収支決算内訳書 (単位：千円)

本部

収入の部		支出の部	
経常経費寄付金収入	1,925	人件費	12,496
受取利息	3	事務費	15,399
積立資産取崩収入	12,088	積立資産支出	15,500
拠点区分間繰入金収入	40,000	拠点区分間繰入金支出	10,626
その他の収入	101	繰越金	96
計	54,117	計	54,117

けいよう

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	99,309	人件費	56,366
借入金利息補助金収入	603	事業費	13,608
経常経費寄付金収入	170	事務費	13,182
受取利息	1	支払利息	657
その他の収入	1,569	その他の支出	667
施設整備等補助金収入	6,660	固定資産取得支出	158
積立資産取崩収入	348	借入金償還支出	7,890
拠点区分間繰入金収入	824	積立資産支出	9,125
		拠点区分間繰入金支出	7,100
		繰越金	731
計	109,484	計	109,484

北総育成園

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	386,461	人件費	246,928
経常経費寄付金収入	3,200	事業費	62,207
受取利息	4	事務費	54,073
その他の収入	3,983	その他の支出	2,920
積立資産取崩収入	15,668	固定資産取得支出	8,287
拠点区分間繰入金収入	2,700	固定資産除却・廃棄支出	3,830
		積立資産支出	54,342
		拠点区分間繰入金支出	21,000
		繰越金	△ 41,571
計	412,016	計	412,016

ゆたか福祉苑

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	209,669	人件費	160,304
借入金利息補助金収入	573	事業費	26,951
経常経費寄付金収入	300	事務費	27,121
受取利息	2	支払利息	573
その他の収入	4,800	その他の支出	2,186
施設設備費補助金収入	1,500	借入金償還支出	6,552
積立資産取崩収入	6,722	固定資産取得支出	484
拠点区分間繰入金収入	3,021	積立資産支出	2,030
		繰越金	386
計	226,587	計	226,587

のまる

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	263,139	人件費	179,999
借入金利息補助金収入	497	事業費	38,793
経常経費寄付金収入	120	事務費	29,767
受取利息	1	支払利息	498
その他の収入	6,647	その他の支出	3,137
施設整備等補助金収入	2,169	借入金償還支出	7,236
積立資産取崩収入	1,304	固定資産取得支出	158
拠点区分間繰入金収入	753	積立資産支出	7,127
		拠点区分間繰入金支出	6,600
		繰越金	1,315
計	274,630	計	274,630

令和5年度貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産(現金預金他)	737,692	流動負債(未払他)	172,620
固定資産	2,340,238	固定負債	596,692
基本財産(土地・建物)	1,390,675	設備資金・退職給付引当	596,692
その他の固定資産	949,563	負債の部合計	769,312
土地	14,852	純資産の部	
建物・構築物	56,754	基本金	85,169
機械装置・器具備品	18,771	国庫補助金等特別積立金	527,965
建設仮勘定	0	その他積立金	722,749
車両運搬具	3,377	次期繰越収支差額	972,735
有形リース・権利等	952		
退職給付引当資産	124,374		
各種積立金	682,202	純資産の部	2,308,618
資産の部合計	3,077,930	負債及び純資産の部合計	3,077,930

とらのこキッズ

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	129,974	人件費	94,749
借入金利息補助金収入	418	事業費	10,474
経常経費寄付金収入	60	事務費	13,118
受取利息	1	支払利息	514
その他の収入	2,692	その他の支出	1,446
施設設備等補助金収入	6,317	借入金償還支出	7,336
積立資産取崩収入	3,181	固定資産取得支出	1,573
拠点区分間繰入金収入	662	積立資産支出	1,951
		拠点区分間繰入金支出	9,100
		繰越金	3,044
計	143,305	計	143,305

さざんかキッズ

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	204,913	人件費	172,566
借入金利息補助金収入	567	事業費	17,877
受取利息	1	事務費	20,952
その他の収入	4,354	支払利息	630
施設設備等補助金収入	7,565	その他の支出	2,385
積立資産取崩収入	5,437	借入金償還支出	7,302
拠点区分間繰入金収入	11,040	固定資産取得支出	1,209
		積立資産支出	6,396
		拠点区分間繰入金支出	500
		繰越金	4,060
計	233,877	計	233,877

なすな工房

収入の部		支出の部	
就労支援事業収入	12,545	人件費	45,447
障害福祉サービス費	72,887	事業費	10,755
経常経費寄付金収入	665	事務費	3,763
受取利息	1	就労支援事業支出	13,257
その他の収入	1,742	その他の支出	1,120
固定資産売却収入	13	固定資産取得支出	516
積立資産取崩収入	500	積立資産支出	5,484
拠点区分間繰入金収入	18,326	拠点区分間繰入金支出	24,860
		繰越金	1,477
計	106,679	計	106,679

カメラアハウス

収入の部		支出の部	
就労支援事業収入	2,702	人件費	60,709
障害福祉サービス費	113,800	事業費	7,583
借入金利息補助金収入	438	事務費	7,627
経常経費寄付金収入	40	就労支援事業支出	2,703
受取利息	3	支払利息	439
その他の収入	834	借入金償還支出	5,640
施設設備等補助金収入	5,640	固定資産取得支出	121
積立資産取崩収入	1,265	積立資産支出	29,664
拠点区分間繰入金収入	300	拠点区分間繰入金支出	9,300
		繰越金	1,236
計	125,022	計	125,022

相談

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	6,211	人件費	11,791
拠点区分間繰入金収入	5,627	事業費	221
		事務費	590
		積立資産支出	90
		繰越金	△ 854
計	11,838	計	11,838

G H (15ヶ所)

収入の部		支出の部	
障害福祉サービス費	301,009	人件費	221,007
経常経費寄付金収入	80	事業費	30,746
その他の収入	2,134	事務費	52,215
施設設備等補助金収入	154	その他の支出	1,076
積立資産取崩収入	2,332	借入金償還支出	154
拠点区分間繰入金収入	5,913	固定資産取得支出	496
		積立資産支出	1,999
		拠点区分間繰入金支出	80
		繰越金	3,849
計	311,622	計	311,622

# 北総の里だより

## 北総育成園

「その瞬間に

寄り添う支援を」

支援課長 猪田 昌宏

「Tさん、危ないですよ!」ある日の午前中、廊下をモップがけしていたTさんに向けた私の言葉です。Tさんは私の方をチラッと見てモップから手を離しました。御年86歳のTさん。昭和49年に入所し以来50年の歳月を北総で送っています。第一線は退いたものの、それこそ10年前までは園周りの環境整備を一手に担っていた働き者。「自分には到底真似できない仕事ぶり。」入職当時から私もTさんの

事を尊敬していました。今回、高齢になったTさんが怪我でもしてしまったら大変だ、と思って何気なくかけた私の言葉がTさんのプライドを傷つけてしまいました。「今の俺のやりがいにつけるな!」と。



黙々とモップがけをする86歳のTさん

私が入職したのは平成10年。北総の作業・文化・自治活動は最盛期であり、利用者さんも職員も朝から夕方まで汗びっしょりになって働き、ハワイや中国、韓国と利用者さんと様々なところに行った事を思い出します。たくさんの保護者にもお世話になりました。そして育ててもらいました。あれから30年・・・



現在北総の利用者さんの平均年齢は約57歳。後期高齢者は6名。車椅子を使用している方は12名と年々増えています。「〇〇

さんが自分でご飯を食べられなくなってきた」「〇〇さんが最近よく転んでしまう」、高齢化に伴い日々変化する利用者さんの状態に右往左往してしまう事もあります。高齢化と聞くと今まで出来ていた事ができなくなる。病気がちになる等、どうしても悲観的なイメージが先行しがちです。自分の家族に当てはめた時と同じです。きっと家族みんな「どうしよう。」と悩む事もあると思います。しかし人間、生きていく限りいずれは誰もが年をとり死を迎えます。ただこれは高齢な人に限った事ではなく、私達自身にも言える事であり、5年後・10年後の事なんて誰にもわかりません。だからこそ今ある命を大切に、その瞬間に寄り添うような支援が必要なんだと思いますし、北総で暮らす利用者さんと接していると、一人一人が今自分が出来る事に精一杯に向き合うその姿から多くの事を学んでいます。

ベット上で女性職員に介助してもらいながら食事をとるSさん。ある日の朝食での事。F支援員さんが「美味しいですか?」と声をかけるとSさん少し口を動

かして何か言いたげでした。F 支援員さんが何とか聞き取ろうとSさんの口元に耳を近づけました。【Sさんがゆっくりだけど、美味しいと言ってくれました】そんなSさんとのやりとりをF 支援員さんは記録に残してくれました。

林産班で働く25歳のTさん。周りの人の気を引こうとわんぱく過ぎてしまう事も多々あります。そんなTさんが、皆が脱ぎ捨てた長靴をそっと揃えてくれました。



職員と一緒に枝を運ぶTさん

これからも、今日の前にいる利用者さんのその瞬間に寄り添える自分でありたいと思います。

最近の出来事よ



利用者を巻き込み会場を盛り上げて下さったおみが和よさこいの皆様



11月6日に行われた第3回北総秋祭り ゲスト・おみが和よさこいの皆様を囲んで



販売シーズン到来 多くのお客様が北総製品を見て買って下さった

# 笹川なずな工房

これから

笹川なずな工房

支援主任 高野明夏

気が付けば季節は秋。今年も残り2ヶ月となった。笹川なずな工房はこれから近隣地域のイベント販売が始まり1年で最も忙しい時期を迎える。10月5日小見川高校文化祭にて福祉科の生徒さんと販売を行った。



小見川高校文化祭

少しずつ活気が戻り地域イベントが再開されている。利用者さんもパンやジャム、加工品をたくさん製造する事に生き生きと作業活動に励んでいる。



現在笹川なずな工房は、生活介護事業と就労継続B型事業の多機能型施設として運営している。就労継続B型は自分達が一生懸命に製造したパンやジャム、加工品をお客様に購入していただき、その売上げから材料費等を支払い残りを工賃としている。ここ数年は感染症の影響も大きかったが日々の作業を少しずつ

つ軌道に乗せる事が出来るようになってきた。就労へ向けた取り組みへと今年度は力を入れて



パン班作業

笹川なすな工房では「青年の主張」を年2回実施している。「青年の主張」とは利用者さんと同じ思い利用者さんの要望や感じている事、これからの目標を聞く機会を設ける事で日頃思っている事や悩み、夢等利用者さんの思いを直接聞くことが出来る大切な時間。「就労希望」もその一つだ。利用者のNさんは笹川なすな工房を利用してからパン班一筋で頑張っている。現在はパンの成型、トッピングなど仕事の幅も広がり仲間や職員から

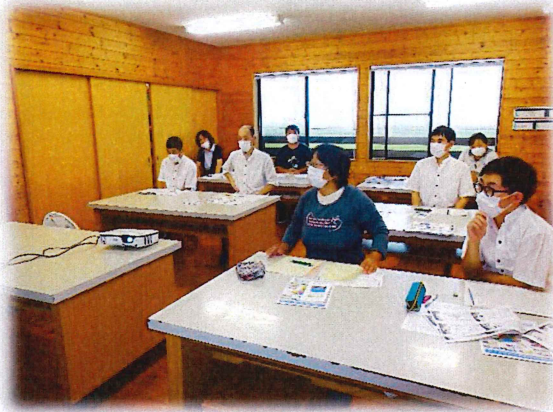
頼りにされている。そのNさんが「令和7年3月31日付で笹川なすな工房退所。令和7年4月1日から一般就労」というメモを職員に渡してきたことがある。それだけ就労への思いが強いと感じた。利用開始当時はまだ10代で自分の気持ちを抑える事や思いを伝える事が苦手であった。工房での活動がうまくいかなかった時、倉庫に隠れてしまう事もあったが、Nさんの心に寄り添いながら支援してきた。あれから20年の月日が経ち、今では仲間とコミュニケーションはもとより、「ネコパンを作ってみたいです」と職員に新商品の提案をしながら作業を進めている。利用者皆さんが目指す「就労への道」が実現できるよう支援を続けていく。



ネコパン



先日、香取就業センターの職員を招聘し、「ジョブガイダンス」を実施。希望者を募り7名の利用者さんが参加した。就労を目指すにあたり「働くための心構え」「ビジネススマナー」等働くために必要なことを講義いただき、分かりやすく具体的な内容で進行了した。参加した利用者さんは真剣な眼差しで、「履歴書の書き方を教えて下さい」「自分に合った就職先を見つけるにはどうしたらいいですか？」等質問の場面もあり積極的な姿が見られた。



ジョブガイダンス

後にガイダンスの感想を書いてもらい、「清潔感のある身だしなみを意識していきたい」「コミュニケーション能力を高めたい」「規則正しい生活習慣を心掛けていきたい」「作業中慌ててしまふ事があるので克服したい」等聞くことができた。就労への1歩を踏み出した。



失敗しても繰り返し行う事でカタチになり自信へと繋がる。将来の目標に向かって今出来る事を大切に「やってみよう！」の気持ちを忘れず、特性を強みへ変えて、「工賃アップ」となる作業、その先の目標「就労」へと導けたらと思う。一緒に頑張っていきたい。

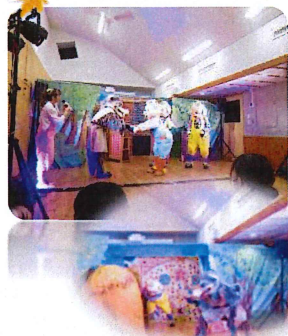


# とららのこキッズ



暑さも和らぎ、だんだん過ごしやすい季節になってきましたね！

今年は外気温が高い日が続きプール活動は短い時間での実施となりましたが、園内には、夏ならではの活動を楽しむお子さんや職員



9月30日に日産労連さんごとらのこキッズに来園されて、劇団飛行船によるチャリティー人形劇【3匹のこぶた】を観劇しました！オオカミさんの登場に興奮するお子さんやびっくりにして涙を浮かべるお子さんも

いましたが、楽しい時間となりました！最後はぶたさんとオオカミさんとタッチをしてお別れをしました♪  
日産労連さん素敵な時間をありがとうございました！



これからもとらのこキッズみんなでたくさん笑って素敵な思い出を作っていきます

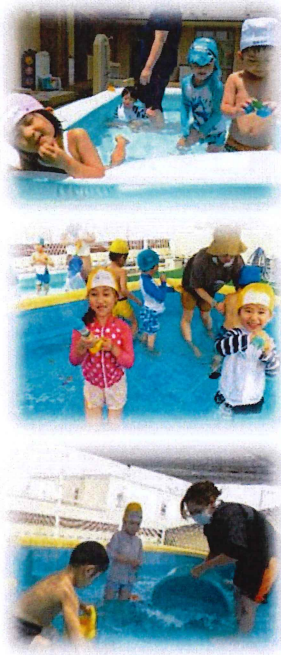


# わびんかキッズ



朝晩は肌寒くなり秋らしさを感じるようになってきました。今回は、夏から秋にかけてのさざんかキッズの様子をご紹介します

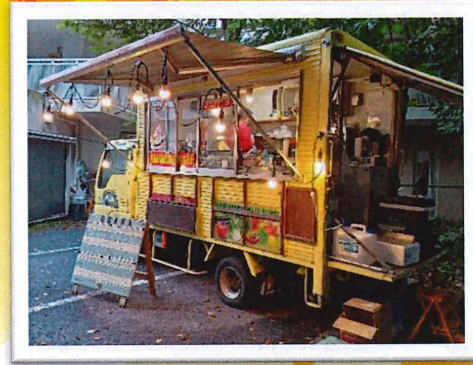
夏の季節の遊びといえばプール！連日の猛暑日でしたが、暑さ対策をしつつ、今年も水遊びを楽しみました😊「今日の活動はプールだよ！」と伝えると、子どもたちはパワーアップ!!玄関で上履きに履き替えるのも、朝のお支度も1.5倍速!!水鉄砲や水車を使って遊んだり、キラキラ輝くカラフルな宝石を探してバケツいっぱいを集めたり、子どもたちと職員の笑い声がたくさん響いていました!!



そして、9月の末に行われた“からだであそぼ！”は今年も大盛り上がり!!普段は先生と遊ぶ場所のさざんかキッズで、この日はご家族の方と一緒に遊ぶことができ、子どもたちは、あっちも!!こっちも!!と、とっても忙しそうにしていました😊



# のまる



猛暑も過ぎ去り、秋風の心地よい季節になりました。皆様、如何お過ごしでしょうか。のまるでは10月8日（火）に毎年恒例の『のまるんるんフェスタ』が開催されましたので、その様子を紹介したいと思います。

今年、のまるにキッチンカーが来てくれました。軽食でポテトやナゲットが用意され、何だろう？と不思議そうにキッチンカーを覗く姿や嬉しそうにスタッフさんから笑顔で食事を受け取る姿など、普段とは違う雰囲気を利用者の皆さんは、穏やかな表情で楽しまれていました。

室内では、仮装してイベントを楽しまれる姿や、運動会のように利用者様によるピーナッツ運び競争、スタッフによる力キ水早食へ競争などのゲームを行い会場は大盛り上がりでした。皆さんの明るい声が会場中に響き、満足そうな笑顔を沢山見ることが出来ました。今後も利用者様の楽しみが増える行事を作っていきたいと思えます。

朝晩が冷え込む季節になり、随分と寒さを感じるようになりましたが体調管理に気を付けて、これから訪れる冬を皆さんと一緒に乗り越えたいと思えます。



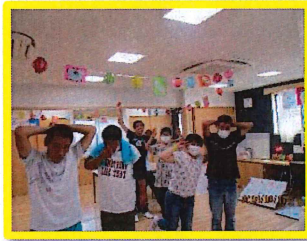


# カメラリアハウス

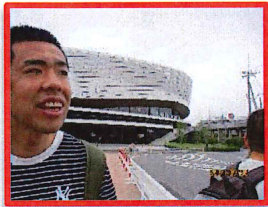
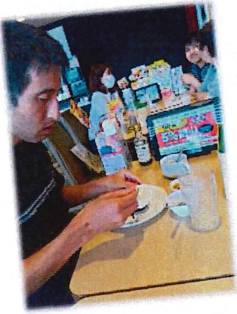


猛暑が続いた日々も過ぎ、過ごしやすい季節になってきましたね。今回は夏から秋にかけての皆さんの様子をご紹介します。

8月の開所日は、夏祭りを行いました！焼きそばにフランクフルト、かき氷や軽食コーナーも用意。遊ぶコーナーでは輪投げにボーリング、射的と皆さんに楽しんでもらえるよう準備しました。当日は天気も良く、普段なかなか交流しない方々が集まり、とても賑やかな会となりました☆



9月・10月の開所日は、カラオケや外食、電車活動と各グループそれぞれ外出されています。コロナ禍でなかなか行けなかったカラオケに、とても喜ばれていました。電車外出では、新しく出来たララテラスやララアリーナを見に行ってきました。芝生エリアなどもあり、のんびりと過ごせました。やっぱり外出は良いですね♪



# けいよ

## 職員紹介

7月から新しい職員が1名増えましたのでご紹介します!!



たぶち しょうへい  
田淵 壮平

福祉の仕事は初めてですが、頑張っていきます！  
よろしくお願ひ致します！

## いきいきフェスティバル

今年は本当に暑い夏でしたが、そんな夏にも負けず8月7日、けいよのダンスチーム「ハイビスカス」は「いきいきフェスティバル」に参加してきました。たくさんのお客さん、観客の方に挨拶を忘れず元気に会場入り。

今年は大輔先生からお客さんへのレクチャーの時間を設け、会場が一体となったところ

で出番です！日頃の練習の成果を発揮し、楽しく踊った皆さんでしたが、その熱気に押され、会場の皆さんも一緒に踊っていて盛り上がってくれました。ハイビスカスの皆さんは船橋フェスティバルの会場をさらに熱く熱くしたのでした！



# ゆたか福祉苑



暑い日がようやく過ぎ去ったと思うと、気が付けばあっという間に10月となっております。ゆたか福祉苑では、秋祭りを開催しました。

玉入れや輪投げを行い、運動会さながら皆でエキサイトした時間を過ごしました。午後は青空ラオケもおこなわれ、美声が響き渡っていました。

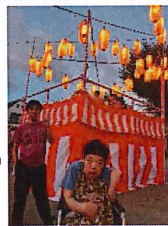
キッチンカー「季珈琲」も来てくださり、それぞれお好みのケーキと飲み物を注文し、あちらこちらから楽しそうな歓声と笑顔が溢れ出していました。



## ホーム便り

今回のホーム便りは

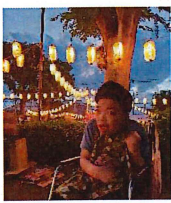
ホーム近くのお祭りに参加した際の様子と利用している訪問看護について紹介していきたいと思えます。



年に一、二度ホーム近くの公園で祭りが開催されており今回も参加してきました！

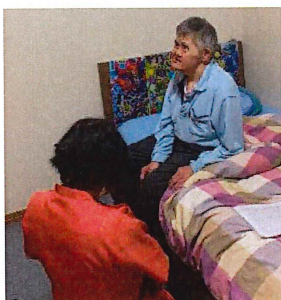
立派な櫓が設置されており屋台やくじびきもありました。

くじを楽しまれ、屋台で焼き鳥やかき氷を購入され満足そうに召し上がられています。



続いてはホームで利用している訪問看護についてご紹介します。法人で契約している所と、個人で契約している所があります。

入居者の皆様の日々の体調について、スタッフとの情報共有を基に、検温や血圧測定などの健康管理を行ってまいります。



夜間も24時間連絡がとれるようになっていきます。体調面で不安なことがあればすぐに相談できてとても頼もしいです。

の専任となりました。しかしながら法人職員であることは変わりません。今後はDDホームズを含めて、法人グループホーム事業の「これまで」を振り返りながら、「これから」を職員の皆さんと考え、その歩みを進めたいと思っています。

「うちのキッズ」は「さざんかキッズ」と共に、この4月から地域の拠点となる療育施設の歩みを始めることになりました。どうぞよろしくお願い致します。

### 【おざんかキッズ】

奥山 裕美 園長

ここ数年の動きとして、入園希望者の減少が見られています。児童発達支援事業所の増加によるもので、それに対応すべく、選ばれる施設になっていく必要性を感じています。また今年度より、児童発達支援センターの中心機能が謳われている中で、地域に向けての支援が求められている現状です。

### 【DDホームズ】

田子森 美洋子 管理者

現在、全国的にグループホームに携わっている職員は男性が多く女性が少ないため、女性職員を増やしていかなければなり

ません。その為にはあらゆる手段を使っていきたい。一例として現在手を打っているのが、老人ホームで働いた経験のある方へ声を掛けたり、さざんか会のPRをしており、手応えを感じているところです。

### 【のまのまホームズ】

奥野 太平 管理者

今まで皆様方に変お世話になり、長くグループホームに携わることができました。このたび管理者として任命され、深く責任を感じています。

これからは、訪問看護や訪問医療等の居宅サービスに関係部門と連携を取り充実させていくことで、心配なく暮らせることが、入居者様に対してやらなければならぬと思っています。

### 【カメラアハウス】

藤敷 正英 施設長

皆様お久しぶりです。カメラアハウスは3年前に本館が建て替えられました。若く新しい利用者さんも増えており、ずいぶん多様性に富んできているなと感じます。スマートフォンやタブレットでYouTubeを見たり、今後も時代に即した利用者さんが来られるかと思えます。

積み重ねたキャリアにあぐらをかくことなく、私たちもアップデートした対応をしていかなければと感じています。

### 【ゆたか福祉苑】

尾村 勉 施設長

昨年度発覚した、職員による不適切な写真の取り扱いの虐待事案に關しまして、皆様に多大なるご迷惑やご心配をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。私たちは、この反省から、年間を通じて4つのテーマを柱とした研修を実施します。

- ① 法人とゆたか福祉苑の成り立ちと役割について
- ② 基本的人権の尊重
- ③ 支援職倫理とマナー
- ④ 組織としての虐待防止

### 【けいよう】

古川 世志恵 施設長

けいようは定員40名ですが、現在の契約者は35名です。今年度に入り、ご本人やご家庭のご事情等により3名の方が退所されてしまいました。新規の利用者の方をお受けしたいのですが、人手が足りず今の時点では厳しい状況です。その影響で活動内容も安全第一に考え、外での活動の機会が減ってしまいました。

しかし、作業活動(地域新聞や市議会だよりの配布、風船、手芸品作り等)に加え余暇的活動で力ヲケや体操、講師を招いてのダンス等室内でも楽しめるような活動も取り入れ、利用者の方に「明日もまた来たい!!」と思っただけのような日中活動を今後も提供できるよう努めて参ります。

### 編集後記

長かった猛暑がようやく落ち着いた着き、束の間の秋を堪能したいところですが、秋の風物詩の一つであった 赤とんぼ が近年激減しているそうで寂しく感じています。耕作方法の変更による水田の減少や農薬の改良が主な理由のようですが、令和の米騒動にやきもきした身でありながら、風情の存亡を憂うとは身勝手なものですな。

おーびん 98号最後までお読みいただきありがとうございます。何かと気忙しいなる時期を迎えます。皆様どうぞご自愛ください。(編集担当〇)

# 後援会だより

令和6年7月3日(水)高根台公民館にて令和6年度さざんか会後援会総会が開催されました。総会の後、午後の部として行われ、社会福祉法人さざんか会宮代理事長をはじめ各事業所の管理者の方々のシンポジウムについて報告します。

## 【社会福祉法人さざんか会

宮代 隆治 理事長】

昭和47年の法人発足より、長い間皆様には大変お世話になり現在に至っています。

令和6年度は6つの目標を定めて取り組んで参ります。

①『虐待防止および身体拘束適正化に向けた取り組み』

残念ながら前年度に発覚した利用者への虐待行為について、二度と起きぬことを決意して日々の業務に邁進することを期した次第である。

利用者各位は掛け替えのない尊重されるべき存在であることの認識を徹底すべく、法人・事業

所単位での虐待防止の研修開催や、支援・療育に更なる創意工夫を要する場面を鑑みながら、サービス向上のノウハウについて学びを深めたい。

②『より働きやすい職場づくりを目指して』

今年度、職員の休日を2日分増やすこととした。折から、働き方改革が叫ばれ職員の福利厚生について改善が求められる昨今、可能な限り取り組んでいきたい。ただし、あくまで、利用者へのサービスの向上を目指しながらの改革としたい。

③『具体的対応に目途を』

利用者の高齢化や障がいの重度化、それにも増してのご家族の高齢化は顕著である。ご家族による介護は限界に近付きつつあるが、現行の入所機能やグループホームがこれらニーズを万全に引き受けるには、難点のあることも自明の理。これらを念頭に、対応策を検討していき具体的な施策に結び付けたい。

④『基本報酬と処遇改善を受け』

本年度は報酬改定の時期であり、生活介護は要する時間の長短により、報酬額に極端な差異が設けられた。グループホームその他の事業も多くが単価の引き下げとなった。微増の事業もあるが、相対的には減額の傾向が窺えるようである。

人件費について新たな処遇改善策が設けられたことは評価に値するが、報酬本体の減額化は事業そのものの衰退に結び付かないものか、懸念を覚える。

そのような環境の中、私たちの提供するサービスの向上と運営の安定はどうすれば約束されるのか、その実践を模索する。

⑤『事業体形の見直しと今後の展望』

創立52年目を迎える当法人、営む各種サービスを利用する人たちの状態像は以前とは当然相違する。今まで培ってきた各事業所の役割や機能について再確認するとともに、今後の適切なサービス提供について、検討していかなければならない。

特に、児童発達支援センターについては、必置の事業が義務

化される等、新たな役割や機能の実施に取り組みねばならない。

⑥『居宅事業の再興』

休止していた魔法のランプについて、行政の指導もあり前年度事業の廃止を届け出なければならなかった。残念というより、申し訳ない気持ちであるが、再開への展望が見出せないでいる。

居宅系事業は、障がいのある人たちの地域生活には絶対に欠かせぬものであり、私たちはこの町で先駆的実践の実績もあり再開の目処を見出す努力は続けなければならない。

【北総育成園

白樫 久子 施設長】

利用者さんの高齢化に伴い、行政と医療関係の方々の協力や連携強化が課題です。

人材育成については、ご家族の方々からの「ありがとう」のお言葉が職員の励みになっており、皆様のお力をお借りして頑張っております。

【とらのこキッズ

中川 公一 園長】

長年、のまのまホームズの管理者を仰せつかっておりましたが、この6月から児童発達支援センター「とらのこキッズ」事業